

2020 年度学術研究プロジェクト募集に関するお詫びと御連絡

会員 各位

2020 年度の「学術研究プロジェクト募集」の募集テーマについて誤記載がございましたので、お詫びと誤記載についての経緯、今後について御報告申し上げます。

【2020 年度募集要項】

<http://www.jssh.or.jp/doctor/jp/infomation/project/file/2020/project2020.pdf#zoom=100>

募集テーマ：

- (1) 手外科学分野の高いエビデンスが得られる臨床研究
- (2) 手の先天異常
- (3) 絞扼性神経障害

(3)のテーマは正しくは、「絞扼性神経障害」ではなく、「手の変形性関節症」でございました。

【誤記載経緯について】

2019 年 11 月 4 日に開催された学術研究プロジェクト委員会にて、2020 年度の募集テーマを決定いたしました。

<2020 年度テーマ決定>

- (1) 手外科学分野の高いエビデンスが得られる臨床研究
- (2) 手の先天異常
- (3) 手の変形性関節症

<2019 年度テーマ>

- (1) 手外科学分野の高いエビデンスが得られる臨床研究
- (2) 手の先天異常
- (3) 絞扼性神経障害

2020 年 1 月 12 日の理事会にて担当理事より 2020 年度テーマをご報告のうえ、日手会ニュース第 53 号 23, 24 ページにてご報告いたしました。しかしながら事務局が十分な確認を怠り、前年度と同じテーマにて募集を行っておりました。委員会による審査後、(3)の募集テーマの誤記載があることを認知しました。

すでに（3）のテーマについては4件の応募があり（合計では14件の応募）、12月4日の学術研究プロジェクト委員会WEB会議にて対応策を協議いたしました。
その結果、下記の対応を行わせていただくこととなりましたのでご案内申し上げます。

-----記-----

1：（3）絞扼性神経障害のテーマですすでに応募された研究プロジェクトは、（1）手外科学分野の高いエビデンスが得られる研究として受け付ける。

2：誤記載の際に募集テーマから漏れた（3）手の変形性関節症について締切日を2021年1月11日（月・祝日）としてプロジェクトを追加募集する。

3：すでに応募されたプロジェクトおよび追加応募されたプロジェクトをすべて新たに審査する。

#つきましては「手の変形性関節症」を新たなテーマとしてプロジェクトの応募を設定いたしましたので、ご応募される先生に於かれましては、2021年1月11日までに事務局宛に応募資料をお送りいただきますようお願い申し上げます。

この度の事案は、2020年2月1日の事務局移転、学会組織体制の変更、コロナ禍による会議開催の制限などの影響もありますが、主として確認不足によって生じたものであります。今後、このような事案が生じないように、事務局および委員会において十分な確認を行ってまいります。学術プロジェクトに応募いただいた先生方、会員の先生方には多大なご迷惑をおかけして申し訳ございません。

心よりお詫び申し上げます。

2020年12月10日

日本手外科学会

学術研究プロジェクト委員会

担当理事 島田 賢一

委員長 藤岡 宏幸

日本手外科学会事務局

川村典子、上甲幸子